

未来へ夢を育む学校



学校だより

4月号 学校長 右橋 康彦



創立 90 周年を迎え

令和 8 年度が始まりました。白幡小学校にとって今年は、創立 90 周年という節目の年でもあります。さっそく 6 年生は 6 日に登校し、入学式や新年度の準備を行いました。新 1 年生の靴箱の中を丁寧に雑巾がけする姿に、優しさと最上級生としての責任を感じました。春休み中、学校では、教職員が新しい教室の準備や教材づくりに励んでいました。進級した子どもたちが安心して新学年をスタートできるように、机や掲示物を整え、学習の準備を進める姿が校内のあちらこちらで見られました。子どもたちの姿がまだない静かな校舎の中で、「早く子どもたちを迎えたい」という思いをもちながら準備をしていたことが、とても印象に残っています。そんな中、キッズクラブに通う子どもたちが、職員室の中をのぞき込み、「新しい先生はどんな先生かな」と興味津々の様子で見ている姿がありました。子どもたちは本当に正直で、そして学校の変化に敏感です。新しい出会いに胸をふくらませている、その姿に、こちらまで温かな気持ちになりました。新年度は、大人にとっても子どもにとっても少し緊張する時期ですが、その緊張の中に「楽しみ」があることを、子どもたちが教えてくれたように思います。今年度は、新 1 年生 107 名を迎え、3 学級でのスタートとなりました。上級生にとっても、新しい仲間を迎えることは、自分たちの成長を感じる機会になります。子どもたちには、新しい友達や新しい担任、新しい学びとの出会いを大切にしながら、一步ずつ自分らしく歩いてほしいと願っています。

今年度も子どもたちに大事にしてほしいことは、昨年度から引き続き、「あいさつ」「チャレンジ」「人に優しくすること」の三つです。どれも特別なことではありませんが、学校生活の土台になる大切なことです。元気にあいさつを交わすこと。失敗を恐れずにやってみること。友達の気持ちを考え、優しく関わること。こうした一つひとつの積み重ねが、子どもたちを強く確かに成長させていきます。また、今年は創立 90 周年の年として、90 周年記念運動会や創立記念式、生活科や白幡の時間の学びを見ていただく白幡ワールドなど、さまざまな取組を予定しています。子どもたちにとって、思い出に残る 1 年になるだけでなく、白幡小学校がこれまで大切にしてきた歩みを振り返り、これからの学校づくりを考える 1 年としたいです。

学校は、保護者の皆様、地域の皆様、PTA の皆様、いちょうの会の皆様など、多くの方々に支えていただきながら成り立っています。今年度も、子どもたちの健やかな成長のために、お力添えをいただく場面が多くあると思います。どうぞよろしく願いいたします。

90 年という長い歴史を受け継ぎながら、今この白幡小学校で学ぶ子どもたち一人ひとりが、自分らしく輝ける 1 年にしていきたいと思います。子どもたちの毎日が、安心と挑戦、そして温かなつながりに満ちたものとなるよう、教職員一同力を合わせてまいります。今年度も、どうぞよろしく願いいたします。

◆学校の教育活動の様子については、学校ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shirahata/>

二次元コードはこちらから→

